



熊本再春医療センター医療連携室だより



再春

KUMAMOTO SAISHUN MEDICAL CENTER

令和7年 第2号

発行所：熊本県合志市須屋2659番地
熊本再春医療センター
編集：地域医療連携室

熊本再春医療センターホームページ <https://saishun.hosp.go.jp/>

消化器センター開設式典



令和7年6月1日 消化器センター開設式典

病院の理念

思いやりの心で
患者、地域、職員に愛される病院

病院運営の基本方針

1. 治し、支える医療の実践
2. 専門医療の推進
3. チーム医療の実践
4. 地域医療連携の推進と地域への貢献
5. 経営基盤の安定
6. 働きがいのある職場作り

Contents

1. 院長あいさつ2
2. 病棟・部門紹介【薬剤部】3
3. 開放型病院登録医紹介【田島医院】3
4. 診療科紹介【消化器内科】4
5. 消化器センター開設5
6. 採用・異動職員からのごあいさつ6~8



ご挨拶

病院長 緒方 宏臣



4月1日より院長職を拝命し、みなさまには日頃より当院に対して暖かいご支援とご協力をいただいていることを厚く御礼申し上げます。

さて、2023年5月8日に新型コロナは2類相当から5類相当に変わり、すでに2年が経過、そろそろ現場も通常体制に戻し本来のあるべき姿に戻したいところです。しかしながら、感染症に対する不安や恐怖は一朝一夕には払拭できないようです。また、社会的には少子化や円安、国際情勢に伴う物価高と日本社会は問題山積みで、これらは医療（社会保障）にも大きな影響を与えています。今後、少子高齢化の進展により、地域医療構想等の議論も活発化していくと思いますが、当院の地域における役割を思い返し、粛々と責務を果たすことで今後の難題を乗り越えていきたいと考えております。

明るい話題もあります。令和元年より着手された合志市による「御代志地区土地区画整理事業」も、「再春医療センター前駅」の移設工事、病院前交差点付け替えと順次完了、病院前の商業施設、Spring Garden MIYOSHI（スプリングガーデン御代志）が完成、順次店舗がオープンしており、病院前は賑やかになると期待しています。国道387号線の拡幅工事等も進行中であり、TSMC進出による通勤渋滞緩和も期待されるそうです。もうしばらくはご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承の程お願いします。

本年4月より消化器内科が再開となりました。直江秀昭先生が副院長として赴任し、大本佳奈先生と2人体制でのスタートとなっております。また、6月より消化器外科とのチームにて8階病棟に消化器センターを立ち上げ、消化器疾患の幅広い診療を行っております。また、コロナ禍での地域の中心的役割を経て、2024年12月からは第二種感染症指定医療機関を菊池郡市医師会立病院より当院へ移管となっております。当院の社会的責務としての地域医療支援病院、熊本県地域医療拠点病院、熊本県指定がん診療連携拠点病院、熊本県難病診療分野別拠点病院、救急告示病院、第二種感染症指定医療機関としての役割を胸に、真に“地域に必要とされる病院、へと職員一丸となって邁進していく所存でございます。皆様方には今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、病診連携の会「熊本再春医療センター医療連携の集い」ですが、本年は第14回目となり6月7日（土）にホテル日航熊本において、熊本大学消化器内科田中靖人教授をお招きしての特別講演をもって開催いたしました。加えて、2027年3月の開催予定としている日本医療マネジメント学会第29回熊本支部学術集会は、当院を会長施設として事務局を担当することとなりましたので、多数のみなさまのご参加をお待ちしています。

薬剤部のご紹介

薬剤部長
田中 誠

熊本再春医療センター薬剤部では、「安全・安心な薬物療法の提供」と「地域医療への貢献」を柱に、幅広い業務に取り組んでいます。当院は、多岐にわたる疾患に対応する政策医療の拠点病院であり、薬剤部もその中核として、調剤業務にとどまらず病棟業務やチーム医療、臨床研究など多方面で活躍しています。

病棟薬剤業務では、医師・看護師と連携しながら、患者さんの薬物療法の支援業務等、薬剤管理指導では、服薬説明や副作用の確認を通じて、患者さんが安心して治療を受けられるよう努めています。外来では化学療法を受ける患者さんへの薬剤管理も行い、継続的な支援体制を整えています。

医療安全の面では、ハイリスク薬の安全な取り扱いを目的とした院内講習会の定期開催、マニュアルの整備などを通じて、薬剤師の役割の強化に努めています。副作用や感染症、不具合の報告制度にも積極的に対応し、医薬品の安全性向上に貢献しています。薬剤部内ではインシデントレベル0の報告推進にも取り組み、日々の業務改善に活かしています。

医薬品費の適正化にも注力しており、後発医薬品の導入やフォーミュラリーの作成を継続的に取り組んでいます。電子カルテとの連携による処方支援体制の構築も検討しており、より効率的で安全な薬物療法の提供を目指しています。地域薬剤師会との連携によるプロトコル運用や勉強会の開催など、薬業連携にも力を入れています。

薬剤部には現在 12 名の薬剤師が在籍し、感染制御、抗菌薬適正使用、栄養サポート、緩和ケアなどのチーム医療にも積極的に参画しています。認定実務実習指導薬剤師や医療薬学指導薬剤師など、専門性の高い資格を持つ薬剤師も多数在籍しており、教育・研修体制も充実しています。臨床研究や学会発表にも取り組み、薬剤師としてのスキル向上を目指しています。

薬剤部は、これからも地域の皆さまに信頼される医療の提供を目指し、チーム医療の一員として日々研鑽を重ねてまいります。



開放型病院登録医紹介

田島医院

院長／田島 和周

熊本県熊本市西区田崎3-1-25

TEL 096-352-2433 FAX 096-351-7704

診療内容／内科・脳神経内科・頭痛外来・パーキンソン病 等

診療時間／ 9:00～12:30

15:00～18:00

診察日・診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9時00分～12時30分	○	○	○	○	○	○	-
15時00分～18時00分	-	※1	○	※1	※1	-	-

※1 訪問診療

田島医院 田島院長先生には、平成23年より当院開放型病院登録医として、多くの患者さんをご紹介いただいております。

熊本市西区田崎の県道227号線から八島団地方面に路地を曲がったところがあり、頭痛やパーキンソン病などの脳神経内科疾患だけでなく、広く内科診療を行なわれています。また強化型在宅療養支援診療所として訪問診療に取り組んでいらっしゃいます。



当院では、平成 20 年度から 17 年間にわたり消化器内科医が不在の状況が続いていましたが、今年度より大学病院の関連施設として、新たに 2 名体制で消化器内科を開設いたしました。2 名で対応できる疾患は限られますが、可能な限り地域医療に貢献していきたくと思っています。

◆スタッフ紹介

- ・消化器内科部長 直江秀昭（平成 11 年卒）
総合内科専門医、消化器病専門医・指導医、
消化器内視鏡専門医・指導医、肝臓専門医
- ・消化器内科医師 大本佳奈（平成 28 年卒）
内科専門医、消化器病専門医、内視鏡専門医、
肝臓専門医
- ・非常勤医師 瀬戸山博子（平成 12 年卒）
総合内科専門医、消化器病専門医・指導医、
消化器内視鏡専門医・指導医、肝臓専門医・
指導医

◆診療内容

- ・画像診断：腹部エコー、腹部 CT
- ・内視鏡検査：上部、下部消化管内視鏡検査、
ERCP
- ・内視鏡治療：大腸ポリープ切除術、総胆管
結石除去（EST）、胃瘻造設術、
消化管ステント留置術、食道
静脈瘤治療（EVL）、食道ア
カラシアのバルーン拡張術
- ・炎症性腸疾患
- ・切除不能進行癌の化学療法など



消化器センター開設

消化器センター長 直江 秀昭

この度、当院に新たに消化器内科が誕生したことを機に、消化器センターを開設いたしました。消化器内科、消化器外科、放射線科などの診療科の他、看護部、薬剤部、臨床検査科、栄養管理室が連携してチーム医療を提供いたします。

◆スタッフ紹介

センター長	副院長・消化器内科部長	直江 秀昭
副センター長	消化器外科部長	沖野 哲也
医師	消化器外科特別診療役	大原 千年
	消化器外科医長	富樫 陽彦
	消化器外科	園田 明莉
	消化器内科	大本 佳奈
	放射線科部長	中島 康也
	臨床検査科科長	石崎 雅俊
看護師	看護師長	遠藤 優希
	看護師長	石井美香子
	看護師長	高木佳寿美
薬剤師	薬剤部長	田中 誠
栄養士	栄養管理室長	戸田 美年
事務部	経営企画室長	中谷 恭子



ERCP 中の富樫先生（消化器外科）と大本先生（消化器内科）

消化器センター開設式典



令和7年6月1日 消化器センター開設

◆診療内容

内科系疾患

内視鏡治療として、大腸ポリープ切除術、総胆管結石除去術（EST）、胃瘻造設術、消化管ステント留置術、食道静脈瘤治療（EVL）、食道アカラシアのバルーン拡張術等。

その他、膵炎や炎症性腸疾患、肝炎、肝硬変、切除不能進行癌の化学療法等の診療を行っています。

外科系疾患

消化器・内分泌臓器の悪性および良性疾患から腹部救急疾患まで、広い範囲にわたる外科診療を行っています。手術の多くは鏡視下手術で、安全で低侵襲な手術を提供しています。

- ・消化管悪性腫瘍：食道癌、胃癌、十二指腸癌、結腸癌、直腸癌
- ・肛門：痔疾患、肛門狭窄など
- ・肝臓：肝臓癌（原発性肝癌、転移性肝癌）、肝良性腫瘍、巨大肝嚢胞など
- ・胆道：胆管癌、胆嚢癌、十二指腸乳頭部癌、胆石・総胆管結
- ・膵：膵癌、膵腫瘍
- ・脾臓：脾腫瘍など
- ・ヘルニア（鼠経、大腿、閉鎖孔、傍ストーマ、腹壁癒痕ヘルニアなど）
- ・乳腺、内分泌：乳癌、甲状腺癌など
- ・救急疾患：腹膜炎、腸閉塞、消化管穿孔、急性胆嚢炎、急性虫垂炎など
- ・その他：胃瘻造設術、切除不能進行再発癌の化学療法、術前・術後補助化学療法など

採用・異動職員からのごあいさつ

■ 医師

副院長 直江 秀昭

こちらに異動する前は大学の消化器内科に15年間在籍しており、前半は医局長を8年間勤めました。最後の方は准教授として、主に管理業務を行ってきました。大学院の期間も含めればほぼ20年間、外来と大腸ポリペクトミーぐらいしかしていません。すなわち、臨床的には立派なポンコツと言えます。

それでいて副院長としての管理業務は重く、2名体制での消化器内科のスタートには正直に言ってかなりの不安があります。しかし、大本先生という相棒に恵まれ、外科チームのサポートも厚いので何とかできるだろうと思っています。私は元来、楽天的な性格で、モットーは「すべては大したことではない。」です。

唯一の趣味が、子どもの頃から続いているカメの飼育で、毎朝エサやりにも忙しく、休日に水替えをするのがリラックスタイムです。

呼吸器内科医師 井村 昭彦

2025年4月から呼吸器内科医師として勤務することとなりました井村昭彦と申します。これまで人吉医療センターに2年間、熊本大学病院に1年間、熊本労災病院に2年間、熊本中央病院に1年間、勤務して参りました。いろいろな病院に勤務する中で、その地域や医療機関の特色があり、今年もまた再春医療センターでいろいろなことを学び、吸収できるよう取り組んでいこうと思っています。至らぬ点も多いとは思いますが頑張っていきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

呼吸器内科医師 大保 美優

2025年4月より呼吸器内科に赴任しました大保美優と申します。熊本大学を卒業後、熊本労災病院で初期研修を行い、その後熊本大学呼吸器内科に入局、熊本大学病院、熊本赤十字病院、

熊本中央病院にて勤務し、今年度より熊本再春医療センターに赴任となりました。

呼吸器疾患は感染症から悪性腫瘍、アレルギー疾患、慢性疾患など多岐に渡っており、日々の診療の中で様々な症例を経験させていただいております。

至らぬ点も多々あるかとは思いますが、地域医療に貢献できるように励んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科医師 藤井 光

この度、熊本再春医療センターで勤務することになりました、呼吸器内科の藤井 光と申します。熊本大学を卒業後、八代の熊本労災病院で初期研修を行い、熊本大学病院にて勤務し、今年度より熊本再春医療センターに赴任となりました。合志や菊池の地域での勤務は初めてとなります。4月からの勤務で、肺炎、気管支喘息、肺癌、間質性肺炎など様々な呼吸器疾患の診療で、学ぶことの多い日々を送っています。

至らない点が多くあるかとは思いますが、自己研鑽に励み、知識・技術を身につけ、医師として成長できるように精一杯努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

消化器内科医師 大本 佳奈

令和7年4月より熊本再春医療センターに赴任しました、消化器内科の大本佳奈と申します。熊本大学を卒業後、熊本大学病院で初期研修を行い、その後熊本大学消化器内科に入局し、熊本総合病院、熊本市市民病院で勤務しておりました。消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医を取得し、特に潰瘍性大腸炎やクローン病など炎症性腸疾患の分野に興味を持ち、診療しておりました。これまでの経験を活かし、地域のニーズにあわせた医療を提供できればと考えております。至らぬ点も多くご迷惑をおかけすることも多々あるかとは思いますが、合志市の医療に貢献できるよう精進いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。

整形外科医師 石川 喜仁

今年度より熊本再春医療センターに赴任いたしました整形外科の石川喜仁と申します。熊本大学を卒業後、熊本医療センターにて初期臨床研修を行い、その後熊本大学整形外科に入局いたしました。大牟田天領病院、熊本大学病院、熊本市市民病院、熊本労災病院、済生会熊本病院での勤務を経て、この度地元・菊陽町に近い熊本再春医療センターに来られたことを大変嬉しく思っております。

まだまだ至らぬ点が多くご迷惑をお掛けすることも多々あるかとは思いますが、少しでも近隣地域の医療に貢献できるよう精進して参りますので、温かいご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

整形外科医師 古賀 大智

本年度より熊本再春医療センターで勤務させていただくことになりました整形外科 古賀 大智と申します。出身は福岡県の大川市で大学進学に伴い熊本へ来ました。熊本大学医学部医学科を卒業し荒尾市民病院（現；荒尾市立有明医療センター）で初期研修を終了しました。その後熊本大学病院整形外科へ入局し、昨年度は熊本大学病院で勤務しておりました。慣れない点や至らない点もあり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも地域の医療に貢献できるよう精進していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

■ コメディカル

診療放射線技師長 岡原 継太

本年度より診療放射線技師長として赴任いたしました岡原継太と申します。

当院では、CT・MRI・RI・マンモグラフィ・骨密度検査など、さまざまな画像診断を通じて診療を支える役割を担っています。私たち放射線技師は、正確で迅速、そして患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、日々努力を重ねております。

私は28年前に放射線技師としての道を歩み始め、これまでさまざまな医療機関で経験を積んでまいりました。技術の進歩は日進月歩ですが、「患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢」は、これからも変わらず大切にしていきたいと考えております。

検査に対して不安をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、少しでも安心していただけるよう、丁寧な説明と温かい対応を心がけています。ご不明な点がありましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

今後とも、チーム一丸となって質の高い医療を提供できるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

臨床検査技師長 安田 正代

このたび、令和7年4月付で、熊本南病院から配置換えとなり、熊本再春医療センターに臨床検査技師長として着任いたしました安田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで、日々の臨床検査業務に携わりながら、検査の質の向上や職場のチームづくりにも取り組んでまいりました。熊本再春医療センターでの勤務は今回が初めてとなりますが、みなさまと協力しながら、新たな環境でも力を尽くしていきたいと考えております。

病院の理念である「思いやりの心で 患者、地域、職員に愛される病院」のもと、検査科としても信頼される存在となれるよう、正確で迅速な検査データの提供に努めてまいります。また、職員同士の円滑な連携と働きやすい環境づくりにも貢献していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

理学療法士長 口石 智秀

この度、令和7年4月1日付けで異動して参りました、理学療法士長の口石と申します。熊本再春医療センターでの勤務は10年ぶりとなります。その間に病院の名称が変わり、病棟は新しくなり、地域包括ケア病棟も開設されており、熊本再春荘病院の時代とは大きく変化している状況に右往左往しながら業務に対応しております。赴任した際、病

院敷地内の桜は満開で懐かしい景色に気持ちが安らぎました。患者さんの身体機能回復のみならず安心感も提供できるようリハビリテーションに努めて参ります。また、職員の皆様と協力し病院の発展、地域への貢献ができるよう頑張りたいと思います。わからないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

■ 看護部

副看護部長 福迫 直美

この度、鹿児島医療センターから異動してまいりました、副看護部長の福迫直美と申します。鹿児島県出身で、今まで大阪、福岡、鹿児島の急性期病院で勤務しておりました。政策医療に携わるのは初めてであり、日々学びながら取り組んでおります。赴任後すぐに、熊本再春医療センターの「再春」の由来について「病む人にも再び春が来るように」という思いが込められていると伺いました。満開の桜と病院のイメージにぴったりで、とても素敵な言葉だなと感じました。1人ひとりの患者さんやご家族に再び春が訪れるよう、「思いやりの心」を持って安心と信頼の医療が提供できるよう努めてまいります。また、副看護部長に昇任したばかりで、不慣れな点も多々ありますが、熊本再春医療センターの一員として全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

7階病棟 看護師長 高木 佳寿美

令和7年4月より、熊本再春医療センターに看護師長として赴任しました高木 佳寿美と申します。看護学生時代から副看護師長まで、熊本再春医療センターで育てていただき、8年ぶりに戻って参りました。8年間は、熊本医療センター附属看護学校で専任教員をしており、久しぶりの臨床の場となります。

病棟スタッフをはじめ熊本再春医療センターの皆様にご温かく迎えていただき、患者さんやご家族と関わることができることを大変うれしく思っております。また、看護学校の卒業生とともに働くことができたことにも喜びを感じております。看護師長としては未熟で

あり、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、地域医療への貢献と寄り添う看護を大切に努力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

つくし2病棟 看護師長 福元 由美

はじめまして。

国立療養所菊池恵楓園より異動して参りました、福元由美と申します。

出身は鹿児島県で、自宅に近かった国立療養所星塚敬愛園での勤務が長く、重症心身障害者病棟での勤務は、昇任の際に国立病院機構南九州病院で勤務して以来10年ぶりとなります。今年、熊本勤務5年目となりました。

この度、つくし2病棟に配属され、患者さんへの毎日のあいさつで、徐々に目を合わせてもらえるようになり、少しずつ受け入れてもらえているのかなと感じております。これから患者さんとそのご家族の方々とも良好な関係性を築きながら、皆さんが楽しく、安心・安全な日常生活を送っていただけるよう他職種の方々との連携し取り組んでいきたいと思っております。また、共に頑張ってくれるスタッフを大切に、ひとり一人の個性を發揮できるように支援してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

■ 事務部

経営企画室長 中谷 恭子

この度、嬉野医療センターより異動して参りました経営企画室長の中谷恭子と申します。熊本再春医療センターは5年ぶり2度目の勤務となります。5年間の間に商業施設（スプリングガーデン）がオープンしたり駅が移設されたりと、周辺の街並みがすっかり変わっており驚いております。

今年度は、経営企画室では収支改善やDPCへの参加など取り組むことが多々あります。不慣れな点も多くご迷惑をお掛けしますが、微力ながら病院経営に貢献できるよう頑張りますので、ご指導のほどどうぞよろしくお願い致します。